

令和6年度 第1回平塚市地域公共交通活性化協議会

1 日 時

令和6年8月20日（火）10時00分から11時30分まで

2 場 所

平塚市消防署本署 3階講堂（屋内訓練室）

3 出席者

○ 委員 14人

津田委員、吉田委員、佐藤委員（代理、橋山氏）、井上委員、山田委員、松田委員、田中（信）委員、藤原委員（代理、大場氏）、鳥山委員（代理、長谷川氏）、松下委員、田中（勉）委員、梶田委員、宿谷委員（代理 鈴木氏）、中津川委員

○ 事務局

武井まちづくり政策部長、生沼交通政策課長、
交通政策課 海老澤課長代理ほか担当3人、福祉総務課 担当者

■ 報告者

hab株式会社 担当者

4 会議の成立

平塚市地域公共交通活性化協議会規約第6条第2項に基づき、委員の過半数の出席により成立

5 傍聴者

0人

6 議 題

- (1) 平塚市地域公共交通網形成計画に基づく施策の実施状況について
- (2) 令和6年度平塚市自動運転バス実証実験の取組み状況について
- (3) 平塚市地域公共交通網形成計画の中間評価（案）等について
- (4) その他

7 報告事項

子ども向け相乗りタクシー実証実験（新しい放課後プロジェクト）について

8 議事録

次ページ以降に記載のとおり

○ 議事録

会長	議題1、「平塚市地域公共交通網形成計画に基づく施策の実施状況」について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(資料1、1-1～6について事務局から説明)
会長	ありがとうございました。説明に対して何かご意見ご質問等、いかがでしょうか。
委員	令和5年度平塚市住民主体地域内移送支援事業の実施状況について、4地区での実施ですが、松原地区と土屋地区(大庶子分とサロン送迎部会)と旭南地区で若干差があります。会員数が少ない事や自治会数が少ない事等あると思いますが、もう少し利用者を増やして、活性化するような計画はありますか。
事務局	委員のおっしゃる通りで、地区によって、会員数やボランティア数のばらつきがある状態です。こちらの事業は、住民主体となっておりますので、例えば周知や、地域住民の士気が高まったときのサポートを、福祉総務課で考えさせていただきます。
委員	SCNさんで制作したYouTubeを拝見しましたが、課題としては、運転手とインセンティブという話がありました。運転手は、地区で募集する必要があると思いますが、インセンティブについては、市として何らかの補助などの考えはありますか。
事務局	おっしゃる通り、担い手不足やインセンティブという話を地区の方からも伺っておりますので。今後、法令等に照らし合わせながら、その範囲内で何かサポートできることがないか検討したいと思っています。
委員	実現性を前向きに考えているということでしょうか。
事務局	そうですね。検討させていただきます。
会長	神奈川県鉄道輸送力増強促進会議要望について、委員から補足等ありますか。
委員	秋の鉄道輸送力増強促進会議総会でご要望を直接いただいて、年度末に回答を差し上げる形になると思いますが、内容としては、令和5年度から継続ということで認識いたしました。一言で申し上げてしまうと、お客様のご利用動向を見ながら、というのが正式な答えなのですが、特にこの出ているものに関しましては、結構難しいものがございますので、前回の時にも申し上げましたが、根岸線の平塚駅の乗り入れや、相模線の平塚・藤沢への乗り入

	<p>れなど、かなり難しいものもあります。</p> <p>昨年も要望を出したので、次の年も引き続き要望を出すというのはあるかもしれないのですが、優先順位や思いの強さとか、その辺りをもう少しご配慮いただければなというのは思っております。</p>
会長	<p>内容につきましては、時代とともに難しいというものもありますし、その辺りはまたご検討いただきながらということになるかと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、他にご意見はありますか。</p>
委員	<p>平塚駅北口から東海大学駅前南口バス路線の再編についてなんですが、これ再編により、例えば平73系統及び平77系統の一部区間の乗り入れ廃止や、巻12系統の減便もあるとのことですが、この辺の廃止とか減便になる路線の利用状況や、利用されているお客様がいる場合、そのあたりの周知方法が現時点で決まっていれば教えてください。</p>
委員	<p>平73系統及び平77系統の乗り入れにより停車しなくなる北金目入口、青柳、東海大学正門前バス停に関しては、県道秦野平塚線に既存で運行している路線が残りますので、平塚・秦野方面を運行するバスが残ります。</p> <p>また、東海大学バス停については、今回の再編により停車しなくなりますが、東海大学1号館前というバス停がございまして、引き続き大学生の利用は可能です。</p> <p>なお、東海大学バス停は、再編後も秦野駅行き及び巻12系統の鶴巻温泉駅行きは残りますので、引き続き利用が可能です。</p> <p>また、巻12系統については、もともと利用者が非常に少ない路線です。本来なら5月20日の伊勢原営業所のダイヤ改正により、減便を伴うダイヤ改正の実施を検討していました。</p> <p>ただ、今回この路線の再編等もございましたので、今回の新設系統と合わせて変更する予定でございます。</p>
会長	<p>私はこの系統を利用しています。今日も会議終わったら平73系統か平77系統で帰る予定です。今後急行便も増える可能性はあるのですか。</p>
委員	<p>便数自体は大きく変わる予定はありません。学生の利用が多いということで、授業時間帯に運行しております。</p>
会長	<p>新設バス停は途中の2箇所になると思いますが、あの辺りは土地区画整理事業を実施したところで住居も多いところで、利用者が地元の方が増えることが期待できますので、ぜひ進めていただければと思っております。</p>
委員	<p>コミュニティ交通等に関する意見交換会についてですが、岡崎地区でコミュニティ交通導入等に向けて前向きに検討されているということですが、現</p>

	<p>状どのような段階にあるのでしょうか。詳細を伺えればと思います。</p>
事務局	<p>岡崎地区のコミュニティ交通導入に向けた現状の段階ですが、地域から、今どんなことに困っているのか、どんなところに行きたいのかという状況を集めているところです。具体的にこういうバスを導入して欲しいとか、コミュニティ交通を地域で運行したいとか、そういったところまでは至っておりません。</p>
会長	<p>土屋・吉沢地区の意見交換会につきまして、神奈川大学の跡地利用について、今後どのようになるのかは、まだまだ先かと思うのですが、こういったところは地元とは連携は十分にとれているということですのでよろしいですか。結構何回もお話されているということですけども。</p>
事務局	<p>先ほどの岡崎地区の意見交換会につきましては、路線バス運行事業者さんはまだ入っていませんが、土屋・吉沢地区の意見交換会については路線バス運行事業者さんに入っていただきながら、生の声を運行に反映できるような形を取り、開催しているところでございます。</p> <p>次回も来月末に予定しておりますので、また議論を深めていきたいと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。土屋地区については地域内移送支援もございまして、ぜひ色々な形で地域の円滑な移動に向けた取組を進めていただければと思います。</p> <p>この吉沢地区のバス待ちスポットは、いつからスタートですか。</p>
事務局	<p>8月末を目途に設置したいと考えております。</p>
会長	<p>こういったスペースは非常に重要かと思っておりますので、ぜひ利用状況も報告いただきたいと思っております。</p> <p>それでは、次の議題に移ります。議題2、「令和6年度平塚市自動運転バス実証実験の取組み状況について」ということで、事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>(資料2について事務局から説明)</p>
会長	<p>それでは、この取組みにつきましては昨年度から引き続きということですが、何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。</p>
委員	<p>事務局から説明がありました今回の実証実験では、路上駐車回避というものをしていくのですが、1台は回避出来ても、複数台連続で止まっていると、自動運転の機能では困難なところでもございますので、路上駐車を減らすことや、バス停からバスが発車する際に、バスの発車を優先していただき</p>

	<p>たいなど、地域の皆様の意識向上やご協力をいただければと思います。 是非とも、市民の方への意識啓発に向けたご協力もよろしくお願ひいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。駐車の問題については、まだまだクリアできないというところもごございます。周辺環境をより良くしていくというのも重要ですので、ぜひご協力をお願いできればと思います。 今年度は、また試乗会はあるのですか。</p>
委員	<p>はい、実施する予定でござひます。</p>
会長	<p>わかりました。前回は試乗させていただきましたけども、かなり快適に乗車できました。また、駐輪場の跡地を撤去ということですが、やはり自動運転に向けて駅前広場の整備も考えていくということでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。その予定です。</p>
会長	<p>自動運転レベル4に向けた進捗状況というのはどのようになっておりますか。</p>
委員	<p>平塚駅南口に特化しながら、何とか2030年度までにはというところで考えております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。技術の進歩もありますので、ぜひ進めていただければと思います。 それでは次の議題に移ります。議題3、「平塚市地域公共交通網形成計画の中間評価（案）等について」、事務局からご説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>（資料3について、事務局から説明）</p>
会長	<p>ありがとうございます。令和6年度の中間評価（案）ということで、何かご質問、ご意見等ございましたら、お願ひいたします。</p>
委員	<p>資料3-2ですが、これは資料3-3の詳細な実施施策の効果を検証するための評価指標であるとのことですね。中間評価の際には、資料3-2も併せて用いるということでしょうか。</p>
事務局	<p>そのように進めていきたいと思っております。</p>
委員	<p>資料3-2の、①鉄道の利便性向上の促進と、②バスの公共交通軸の整備・強化を除いてほぼ達成ということになっています。中間評価の際にはそれらを踏まえ、資料3-3との整合性が取れているかどうかを確認しつつ進</p>

事務局	<p>めて頂ければと思います。</p> <p>また、資料3-3の未達成の項目について、その理由など詳細に記載して頂くと良いかと思えます。未達成というのが、どの程度実現可能なのか、見通しが立っているのか等、その程度がわかるような形に記述して頂ければ良いと思えます。</p> <p>見通しが立っているものについては、令和9年度に達成できれば問題ないので、実現するための課題や、その課題解決に向けてどのような事をするのかも、ある程度踏まえておいたほうが良いかと思えます。</p> <p>未達成のところにつきまして資料に落とし込んでないところもあります が、会議にて口頭で説明した部分を文字に起こして、後日資料提供できれば と思っております。</p>
委員	<p>①鉄道の利便性向上の促進について、中間評価で達成度を書くことが求められて、最終年度で達成したかどうかを記載しなければならない項目だとすると、実現が難しいものが多いです。</p> <p>具体的に検討したわけではありませんが、例えばこのJR根岸線の平塚駅まで乗り入れを実現しようとする、利用ニーズがあるかどうか前提となり、その後大船駅の駅構造、運行ダイヤ、ホームドア、車両編成の問題など、いくつもの課題があります。</p> <p>現実的に難しいものがいくつもあり、中間評価で見直しができるのであれば、施策として引き続き入れるのかどうか考えていただいてもいいのかなと。正直なところ思っております。</p> <p>また、資料3-3(4)で未達成だった、「鉄道とバス等の接続利便性の向上」、「バスの乗り継ぎ割引の導入」、「路線バス利用者へのポイント付与」について、システム構築に係る経費が高額であるということなのですが、具体的に検討されたのですか。</p> <p>弊社のエリアでも群馬県では地域内でのMaaS等の事例もありますので、コメントさせていただきました。</p>
事務局	<p>はい。バスの乗り継ぎ割引と路線バス利用者へのポイントにつきましては経費が高額というお話をさせていただきましたが、具体的なものについて、神奈中さんの方からお話いただければと思います。</p>
委員	<p>市の施策としてやるのか、弊社の施策でやるのかにも大きく変わってくる ところですが、今後行うという事になれば、市全体を考えていくのか。乗り 継ぎ地点をどこにするのか、今後協議をしていかななくてはいけないところだ と思っております。</p>
委員	<p>資料3-3の①鉄道の利便性向上の促進について、私も物理的に難しいと思 っております。</p> <p>資料1-1「令和6年度神奈川県鉄道輸送力増強促進会議要望事項につい</p>

	て」に戻りますが、【その他JR線関連】（調整中）とありますが、こちらについての現状はどのようになっていますか。
委員	こちらの記載は、具体的にどこの駅の話になりますか。
事務局	平塚駅です。
委員	ホームの転落防止に関しては、計画では2031年度までにホームドアを整備する予定となっております。 東海道線については、実は一番難しい路線でして、普通車や特急車など様々な車両が運行しているため、ホームドアの計画を立てるのが難しい状況なのですが、確実に実施いたします。
委員	網形成計画の施策について、実現が難しいものが載っていますが、こちらを取り下げるような形とし、鉄道関係についても、資料1-1に記載してある実現できそうな内容については、記載したらどうかと思いました。
事務局	ご意見いただいた内容を含めて計画案を作りましてお示ししたいなと思っておりますので、十分ご検討させていただきたいと思います。
委員	鉄道関連については、法令に基づいて整備すべきものは整備しなければなりませんし、一方で構造的になかなか難しいものもございますので、そういったものは代替する形で、整備に見合うような形で整えるなど、きちんと対応していきたいと思っております。
会長	ありがとうございます。その他ございませんでしょうか。
委員	資料の中でも、何回か乗務員不足とドライバー不足ということが記載させていただいていますが、現状の話をしますと、過去の会議で別の担当が話しているかもしれませんが、バスに関しては2024年4月に、2024年問題ということで、よく皆様もニュース等でも聞かれる形ではございますが、今までの運転士が足りなくても乗務員の時間外労働等で補っていたところを、時間外労働も制約上限が規制されたところです。 今まで、次の業務までのインターバルとして8時間空けていたものが、1時間延びて9時間空ける必要があるなど、色々と労働条件にも制約がつけられたところです。 またあわせて、今乗務員の高齢化も非常に厳しいところで、弊社の平均年齢も53歳というところで、積極的に採用活動は進めてはいますが、非常に採用が厳しい状況です。 このため、乗務員が働ける上限がある中で、乗務員不足が続いてしまうと、運行路線の全てをカバーすることが出来ず、今の路線の運行本数も含めた路線の維持が非常に厳しい状況です。

	<p>このため、資料3-1のなかの、新たなモビリティサービスの導入にというところで記載がありますが、平塚市と一緒に協議していきながら、どのような形で平塚市内の交通ネットワークが維持できるかを検討させていただきます。またその方向性等が定まりましたら、こちらの会議で報告をさせていただきますと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
会長	<p>厳しい状況というのはお聞きしていますので、それをどう補完して交通ネットワークとして維持していくかというのは、ぜひとも色々なご意見と知恵を出しながらやっていければと思います。</p> <p>高齢者の免許返納の促進については、未達成となっておりますが、免許返納の数などの状況等は何かお分かりになりますか。平塚は右肩上がりですか。</p>
委員	<p>統計をはっきり見ているわけじゃないですが、赴任当初の時に見た状況からは上がっていますね。</p>
会長	<p>小型モビリティとして、キックボードは結構、平塚では走っているのでしょうか。</p>
委員	<p>茅ヶ崎では使われているようですが、平塚市は業者がいないため走っていないようです。そういった事故まだないですね。</p>
会長	<p>わかりました、ありがとうございます。ぜひ、中間評価ということでしっかり評価していただいて、令和9年度の最終評価に向けて良いステップとなるように、評価をしていただければと思います。</p> <p>それでは、議題4、その他について、資料等ありませんが、委員の皆様から最近の状況や周知、PR等ございましたらお願いできればと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>(意見無し)</p> <p>特にないでしょうか。それでは議題はこれで終了します。</p> <p>次に、報告事項となります。子ども向け相乗りタクシー実証実験(新しい放課後プロジェクト)が始まるということでございますが、まずは事務局及び事業者からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>本市では、今年度hab株式会社が実施する子ども向け相乗りタクシーの実証実験について、事業エリアの自治体である横浜市、川崎市、杉並区とともに国が募集する共創モデル実証運行事業プロジェクトへの事業推薦を行いました。事業概要につきましてはhab株式会社様からご説明いただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
報告者	<p>当社は、子供に特化したタクシーやバスを使った相乗りのシャトルを運行する会社です。地域のタクシー車両やバスの車両を我々が借り上げ、子ども</p>

	<p>専用の送迎車両に転身させ、スマートフォンのアプリケーションから保護者様のニーズを吸い上げ、地域のお子様の送迎ルートを作るといったようなサービスを展開しているところです。平塚市でも今年度、実証実験を行っていきたくと考えています。</p> <p>一つ強調しておきたいのは、新しい取り組みとして、現行の法律の中でできるもので、我々は旅行業の免許を取っており、募集型企画旅行というような法の整理をさせていただいております。</p> <p>保護者様のご自宅もしくは保育園などから、習い事事業所のところまで運行する、小さな旅行を我々が計画して、その移動手段として、タクシー会社やバス会社さんにご協力いただくという、現行法の中で整理できるようなサービスとなっております。</p> <p>習い事の送迎を理由にキャリアを諦めるなど、子どもたちが送迎を理由に習い事ができないような現状を少しでも解決できるように、この実証実験を経て、こちらのサービスの社会実装を進めていきたいと考えております。 (以下、資料4に基づき報告を実施)</p>
会長	<p>料金については、どれくらいを想定しているのでしょうか。</p>
報告者	<p>習い事事業者様によるのですが、基本利用者から500円取ることを前提に、習い事の事業者様があまり負担できない場合は、その分金額が増えていくイメージです。</p> <p>ここを保護者様がどれくらい負担するのか。習い事の事業者様がどれくらい負担するのか。あとは地域の行政のその補助金をどれくらい使うのかというところで、何が一番社会にとってベストなのか、見極めている状況です。</p>
会長	<p>わかりました。ありがとうございます。</p> <p>他に何かご質問等ありますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは他にご意見が無いようであれば、進行を事務局にお返ししたいと思います。</p>
事務局	<p>長時間にわたりご審議いただき、ありがとうございました。それでは以上をもちまして、令和6年度第1回平塚市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。</p> <p>次回は来年3月頃に開催させていただきたいと考えております。開催日が決まりましたらご連絡を差し上げたいと思います。本日はどうもありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以 上</p>